

銚子ジオパーク市民の会 ニュース

総会特集

屏風ヶ浦(銚子市)

第139号

2026年7月22日 発行

発行責任 安藤 清

銚子ジオパーク市民の会

URL: <https://choshigeopark.com>



二〇二六年度 市民の会総会 開催

事務局長 田中 豊

五月九日(土)、一時三十分

銚子市勤労コミュニティセンターにて、銚子ジオパーク市民の会総会が開催された。

工藤忠男会長の挨拶に続き、来賓の銚子ジオパーク推進協議会会長である越川信一銚子市長の挨拶があり、この中で、二〇二五年度の第一五回「全国大会で市民の会が表彰されたことに対して、市民の会のこれまでの活動が認められたものである」とのお祝いの言葉があった。

また大会に市立高校の生徒二名がユースセッションに初めて参加した。今年度は銚子市で予算を付け市内三校から二名ずつ六名を参加できるようにしたとの報告があった。

出席者数について内匠五枝副事務局長より報告を受けた後、工藤会長を議長に選出し議事が開始された。

初めに、二〇二五年度の

活動報告を田中事務局長、収支決算報告を田中会計、会計監査報告を保立和則監査が報告し、出席者の拍手多数で承認された。

続いて議案の審議に入り、一号議案二〇二六、七年度役員の変更について(案)を田中事務局長が説明し審議後、賛成挙手多数で承認された。

新役員が承認されたため、議長を工藤会長から安藤清新会長に引き継ぎ、以降の審議を行った。

二号議案二〇二六年度活動計画(案)、三号議案二〇二六年度収支予算案を房州副会長、川原会計が説明し、賛成挙手多数で承認された。



(総会風景) 中央:安藤新会長 左:工藤前会長

次いで、その他の審議で、会員より2件の意見が出され、理事会で検討することになった。議長が承認された新理事を起立で紹介し終了した。

議事終了後、工藤前会長の退任の挨拶があり、参加者の拍手で前会長のこれまでの活動を労い総会は閉会した。

新会長へ挨拶 会の持続可能な未来へ

会長 安藤 清

市民の会が発足15年となる今年、工藤前会長の後を継いで会長に選任されました。

銚子ジオパークの誕生とその後の発展に深く関わってき

た市民の会の来し方を振り返るとき、工藤前会長をはじめ多くの方々の情熱と行動力に圧倒される思いです。とくに草創期においては、この会こそが銚子ジオパークを支えるのだという気概に満ち、具体的にさまざまな活動を開始したと聞いています。その活動は、一面において行政的な事

業でもあるジオパークが、草手伝い等、これらは現在も継続され十五年になります。

導かれたことを示しています。市民の会は十数人からのスタートでしたが、現在は二〇〇名程になり、可能性が大きくなつたのを感じています。

銚子ジオパークは他地域のジオパークに比べ、市民の会の活動が大きな力になっています。

今年度より会長を退き、一

会員として活動します。

これからは新会長のもと、皆さんが心一つにし、銚子ジオパークが素晴らしいものになつていけたらと願っています。

会員の皆様へ

前会長 工藤忠男

銚子がジオパークに認定されたのは、2012年9月です。

市民の会は、その一年前に発足しています。

千葉科学大でのジオパーク講座、ジオサイトの清掃、観光客に対するガイド、推進室主催の小中学校の学習支援のお

2026年度市民の会

総会記念講演会

報告 小玉健次郎

総会記念講演会(推進協議会事務局と共催)は、首都圏

CO2(株)の芦田貴史氏により

「二酸化炭素はどこへ行くの?九十九里沖で進む地中にしまふ新しい技術」という題目で行われました。地球温暖